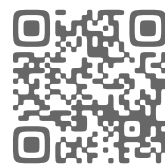




サステナブルに基づく繊維ファッション産業の未来共創プロジェクト

大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン出展 記念誌

HP



<https://expo2025-fashion.osaka.cci.or.jp>

2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン 「リボーンチャレンジ」とは

REBORN
challenge

提供(公社)大阪パビリオン



大阪ヘルスケアパビリオンでは「REBORN（人は生まれ変わる、新たな一歩を踏み出す）」をテーマに掲げ、大阪の強みを生かしてわくわくする明るい未来を感じられるパビリオンをめざしています。大阪ヘルスケアパビリオン内に設置される「リボーンチャレンジ」では、400を超える優れた大阪の中小企業・スタートアップの技術力や魅力を、毎週入れ替わる形で展示し、国内外へ広く発信しています。

「サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト」とは

project

大阪の中小企業17社が、「未来のファッション」を共創し、「リボーンチャレンジ」で展示します。

大阪の繊維・ファッション産業の「協業」の精神を受け継ぎ、中小企業同士が交流、協力することで、イノベーションを生み出すことをめざします。



project

実施主体 大阪商工会議所 協同組合関西ファッション連合

開催場所 2025大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン 1階「リボーンチャレンジ」(約160㎡)

開催期間 2025年9月23日(火)～29日(月)

出展企業 大阪府下に事業所、活動拠点を持つ中小企業 17社

協力企業 「出展企業」に展示協力する17社

プロジェクト名称 「サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト」

Steering Committee

ステアリングコミッティ

ごあいさつ



ステアリングコミッティ 委員長
大阪商工会議所繊維部会長
大西 寛

委員



協同組合関西ファッション連合
連携委員長
白谷 喜世彦



大阪公立大学 名誉教授
(大阪市立大学)
富澤 修身



協同組合関西ファッション連合
専務理事
糸井 弘一



大阪商工会議所
専務理事
井内 摂男

2025大阪・関西万博開催にあたり、大阪商工会議所と協同組合関西ファッション連合は、期間限定展示「サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト」に取り組みました。「繊維・ファッション産業の未来」をテーマに、中小企業17社が「共創」で展示制作に取り組んだもので、3年にも及ぶ準備期間中には、乗り越えなくてはならない多くの課題がありました。結果、1週間の展示期間中に20万人以上が来場し、報道件数は100件を超えるなど、繊維・ファッション産業のポテンシャルを広く社会にアピールすることができました。

展示制作にあたっては、「共創」を必須としました。繊維・ファッション産業、異業種の様々な中小企業が交流、共創を重ねることで、多くのイノベーションを生み出すことができました。現在、繊維・ファッション産業は変革期にあります。この難局を乗り越える鍵はやはりこの「共創」にあると思います。この展示制作を通じて得られた「共創」の経験を広く共有したく、報告書にまとめることといたしました。本冊子が、皆さまがこれから取り組む「共創」の道標となれば幸いです。結びに、本プロジェクトにご協力賜りました企業・関係各位に心より感謝申し上げます。

Exhibition Production Team

展示・製作チーム

ごあいさつ



クリエイティブ ディレクター
MAJIWARI 代表
半田 誠

3年越しのビッグプロジェクト、関係各社の皆様お疲れ様でした。スタート当時に課せられた今回のテーマ「共創」が、かなり厄介で本当に形にすることが出来るのか、現場に入る二週間前まで不安な気持ちは続きましたが、皆様の熱い思いで作り上げた共創作品17点は、ご来場いただいたすべての方々に、夢と希望を与えることが出来たと思っています。今回の万博プロジェクトは一つの通過点、ここからがスタートです!! 異業種の集まりで色々な葛藤があったと思いますが、ファッションのフィルターを通して色々な

可能性も広がりました。大阪の中小企業と協力企業の底力を持って、大阪から未来ファッションを変えていきましょう! 皆さまと過ごした貴重な時間は、私にとって大切な財産になりました。どんどん進化していく世の中でも最終的には人の手でしか作れない。改めてそう感じる事が出来た3年間。最後まで一緒に走り抜いてくれた皆様の努力と忍耐に、改めて感謝を申し上げますと共に、また、いつか一緒に出来る日を楽しみにしております。本当にありがとうございました。



アートディレクター
Thirdman®products
蓬萊 知春



デジタルアドバイザー
株式会社オタクラウド 代表取締役
茶木 盛暢



ファッションアドバイザー
株式会社TERUAKI TAKAHASHI
代表取締役
高橋 輝明

Three-year progress

3年間の歩み

2023 / 春

25社から出展企業の
応募がありました!



プレゼン&交流会

2023 / 夏～冬

出展企業選考

互いの強みをプレゼンテーション。
グループに分かれてワーキングを
重ねました!



ワーキング

2024 / 春

出展企業決定

出展企業17社が
決定しました。



万博をきっかけにはじめて出会う企業。

話し合いながら共に未来のファッションを製作しています。



出展企業同士でのミーティング



専門機関との相談

異業種と共創

自動車解体業や化粧品メーカーなどの異業種企業と共創



学生との共創

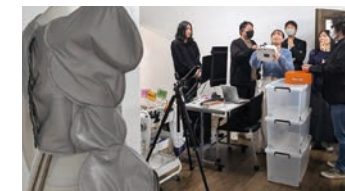
学生も参加し奮闘しています。中小企業の
底力やものづくりに対する想いも勉強中!



出展企業の見学

試行錯誤中!

たくさんの失敗も。
試作に試作を重ねています。



メディア取材

万博を契機に
中小企業に
注目が集まっています。



2025 9月23日(火)～29日(月)

2025年大阪・関西万博
大阪ヘルスケアパビリオンに出展しました。



万博後も繊維・ファッション産業の
新しい挑戦は続きます!

チェンジ!!ファッション(CF)ワーキング、ステアリングコミッティ等開催回数

2023年度

(4/10) 第1回ステアリングコミッティ
(5/18) 参加企業募集説明会
(7/24) 第2回ステアリングコミッティ
(8/9) プレゼン&交流会 事前説明会
(9/12) プレゼン&交流会
(10/4) 第1回CFワーキング
(11/9) 第2回CFワーキング
(11/29) 第3回CFワーキング
(12/19) 第3回ステアリングコミッティ
(2/28) 第4回CFワーキング

2024年度

(5/16) 第4回ステアリングコミッティ
(5/29) 第5回CFワーキング
(8/29) 第6回CFワーキング
(10/1) 第5回ステアリングコミッティ
(10/22) ファッション合同展示会&セミナー
「チラミエEXPOーチェンジ ファッション!!」
(12/18) 第7回CFワーキング
(2/20) 第8回CFワーキング
(3/10) 第6回ステアリングコミッティ

2025年度

(6/3) 第9回CFワーキング
(7/18) 「繊維・ファッション産業未来共創
プロジェクト」展示物内覧会
(8/19) 第7回ステアリングコミッティ
(9/11) 第10回CFワーキング
(10/30) 公式打ち上げ会
(3/9) 第8回ステアリングコミッティ
(3/13) 第11回CFワーキング

“ハダカじゃいられないから” チェンジファッション！！

‘You can’t go naked’: transforming fashion to the future!



今、未来のために自身の衣服についても考え直し、行動すべき時を迎えています。

人類はこれまで時代や流行にあわせて、様々な衣服を生み出してきました。

しかし同時にそのことが、環境破壊、人権問題、経済格差の拡大など、

様々な問題を生み出してきた面があることも否定できません。

そのように考えると、ヒトも他の動物と同じように裸でいるのが一番良いのかもしれませんが。

でも、私たちにとって衣類は必要不可欠なものです。

それでは、私たちは生身のカラダにどのような素材を纏うべきでしょうか？

また、平等な社会を築くために、ファッションにできることは何でしょうか？

今回の展示では、**エシック（人や環境に優しい）**、**エキサイトメント（わくわくする）**、**リボーン（伝統から新しい形へ）**

という3つのキーワードを軸に、

大阪の出展企業17社が、作品を共創しております。

ファッションに関する独自の開発素材、プロセスや新しい取り組みなど、

ファッション文化の価値や意味を考え直すと同時に、

未来のファッションのあるべき姿を各ブースにてご紹介いたします。

feel the future, feel the change

WAKUWAKUzone

ゾーン展示コンセプト

「もし、宇宙エレベーターができたら…」

20XX年ー「宇宙エレベーター」ができた遠くない未来、ひょっとしたら人類は宇宙で過ごしているかもしれません。

その時、いったいファッションはどのように変化しているのでしょうか。誰もがワクワクする未来を、ファッションは創造できるのでしょうか。

好奇心と想像はいつの時代も人類を冒険へと導き、進歩へと導きました。

「もし、宇宙エレベーターができたら…」

日常から少し離れて、そんな未来を想像しませんか？

ワクワクする「想像と創造」の旅がいま始まります。

共創の様子



お互いの企業を見学。

仕事以外の交流も。



「TERUAKI TAKHASHI」の高橋氏、協力企業の室内装飾ヒグチ アトリエ工房アンジュの樋口氏、YKKの高橋氏等と交えてミーティング。

展示空間

宇宙エレベーターが出来たインパクトある近未来をイメージした動画をTHE MARTIN labが製作し冒頭で展示した。



宇宙エレベーターをイメージしたガラスのケースで近未来空間へと誘う。

出展企業

Care Fashion

bluerorange

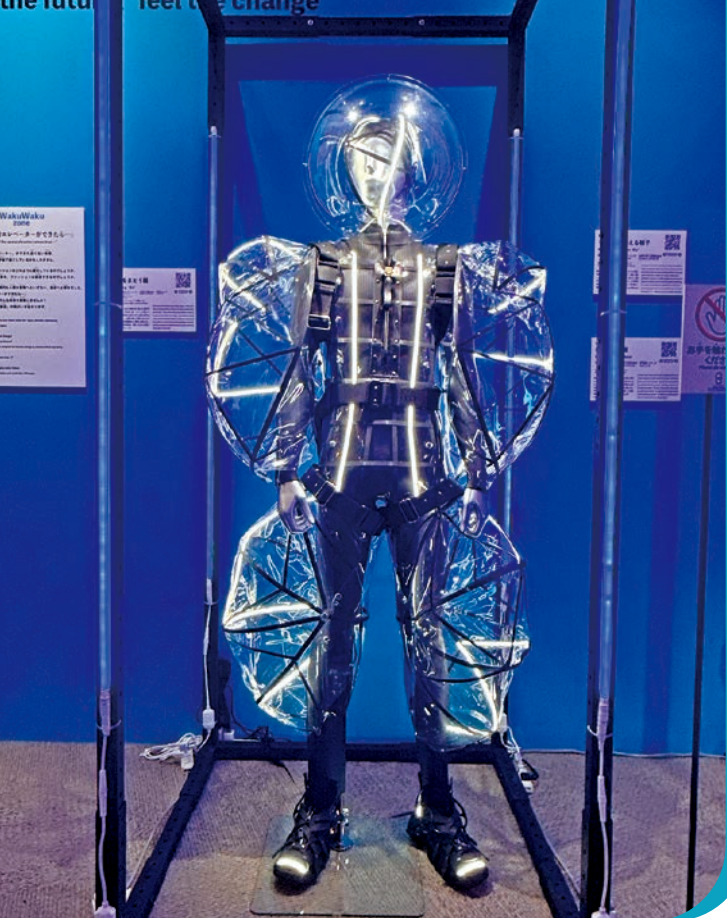
XX 山本化学工業



Re:getA

協力企業

宇仁繊維株式会社、株式会社THE MARTIN lab、株式会社室内装飾ヒグチ アトリエ工房アンジュ、YKK株式会社、中大加工



空気をまとって服 Wearing 'Air'

出展企業

株式会社ケアファッション(Care Fashion Co., Ltd.)
山本化学工業株式会社(YAMAMOTO CORPORATION)
株式会社ヨシダ(YOSHIDA.,LTD)
株式会社 リゲッタ(Regeta Co., Ltd.)

協力企業

宇仁繊維株式会社
株式会社THE MARTIN lab
株式会社室内装飾ヒグチ アトリエ工房アンジュ
YKK株式会社
中大加工

概要

誰もが空中で安心して暮らす未来のため、私たちに必要不可欠な「空気」について考え直した服。エアドームで覆うことで空気を確保し、温度変化の対応やきれいな酸素の供給も意識しました。中のスーツは誰でも脱いだり着たりがしやすい工夫をしており、血行促進機能もあり健康にも役立ちます。地球温暖化や大気汚染が進めば、「空気」はどのように変化し、人類は生活できるのでしょうか。

Summary

In the future, human beings may be living in space. In order to live safely, the displayed clothes expresses 'air' which is essential to the human beings. The air dome secures air and adjusts to changes in temperature and supplies clean oxygen. The suit inside is devised so that anyone including the elderly can easily wear or take off and also functions to promote blood circulation throughout the body. If global warming and air pollution increases, then how will human beings adjust to the change?



●伸縮性がありびったりとしたスーツだが、滑りやすい裏地やファスナー(YKK提供)を使用することでどんな方でも着脱しやすい。その他、生地には血行促進機能加工を施すなど、高齢者衣料品・介護衣料品の企画・販売・卸売を手掛けるケアファッションならではの工夫がある。



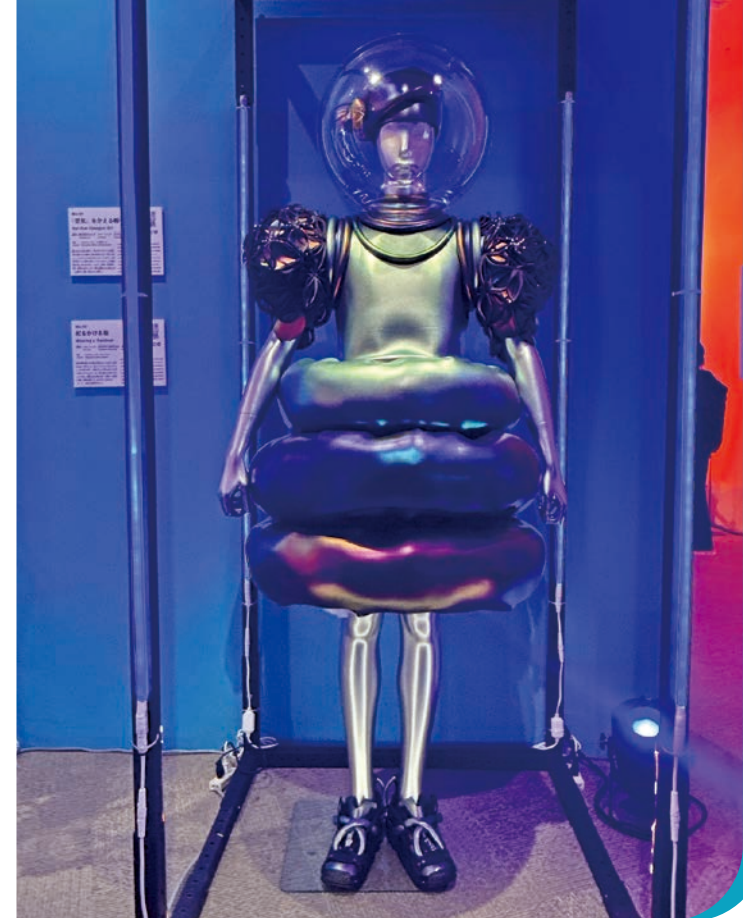
●「TERUYAKI TAKAHASHI」高橋氏がデザインを、パターン・縫製は室内装飾ヒグチアトリエ工房アンジュの樋口氏が担った。宇宙服をイメージした頭部の透明な球体は中大加工が製作した。



製作過程

最後の最後まで微調整や試行錯誤が続いた。

●表面のラバー素材は山本化学工業の「SCS BLACK®」を使用。水に濡れると表面に水分子が皮膜しぬるぬるとした質感となることで、着脱や水の抵抗を下げるができる。



虹をかける服 Wearing a 'Rainbow'

出展企業

ブローレンヂ(blurorange)
山本化学工業株式会社(YAMAMOTO CORPORATION)
株式会社 リゲッタ(Regeta Co., Ltd.)

協力企業

宇仁繊維株式会社
株式会社THE MARTIN lab
株式会社室内装飾ヒグチ アトリエ工房アンジュ
YKK株式会社
中大加工

概要

性別や年齢に縛られずに誰もが自由におしゃれを楽しむ未来のための「宇宙ドレス」。実はメンズマネキンに着させています。目の錯覚を利用し、肩幅が広いなど男性の骨格でも自然に似合わせているのです。また、誰でも脱いだり着たりがしやすい工夫も。表面には見る角度で色が「七変化」する素材を使用。多様性の象徴「虹」をかけることであらゆる「ボーダー」を越える未来を考えました。

Summary

This 'space dress' can be worn by anyone regardless of sex or age so that everyone can enjoy fashion in the future. This dress is displayed on a male mannequin. The design uses optical illusions as a method to show that even men's broad bone structures can naturally look feminine. This dress is also devised so that anyone can easily wear or take off. The rubber material changes colors in 7 ways depending on the angle. This expresses a rainbow which is a symbol of diversity that transcends all 'borders'.



●ユニセックスなエレガント服を製作・販売するアパレル企業であるブローレンヂが、認知心理学の錯覚をデザインに取り入れ、肩幅や骨盤などの骨格等に左右されず男女ともに違和感なく、美しく着ることができるドレスを実現している。



●表面のラバー素材は山本化学工業の「AURORA®」を使用。光の当たり方によって色が変わり、水中では、より激しく色が変わる。石灰石や菜の花など自然由来成分が原料で、保温性、柔軟性、防水性等にも優れている。



●パターン・縫製は室内装飾ヒグチアトリエ工房アンジュの樋口氏が担った。宇宙服をイメージした頭部の透明な球体は中大加工が製作した。スカート裏地には宇仁繊維提供の生地を使用。



製作過程

何度も試作品を作り話し合いを重ねた。



宙に浮く靴

Floating shoes

出展企業

株式会社 リゲッタ(Regeta Co., Ltd.)
山本化学工業株式会社(YAMAMOTO CORPORATION)

協力企業

宇仁繊維株式会社
株式会社THE MARTIN lab
株式会社室内装飾ヒグチ アトリエ工房アンジュ
YKK株式会社
中大加工

概要

「宙に浮いてみたい。」なんて1度は夢見たことがあるのではないのでしょうか。そんなワクワクする未来をカタチにした靴。「電磁石」の反発を利用して空中に浮かせています。素材は環境にやさしく7倍に伸びる特殊なゴム素材を使用。楽しさだけでなく将来的には、足腰が弱った人へのサポートなど介護での応用も考えています。あなたも今からワクワクする未来を想像してみませんか。

Summary

Floating in the air must have been everyone's dream for at least once. This shoe display is an exciting image of the future. Electromagnet repulsion is used to float the shoes in the air. The eco-friendly special rubber used in the shoes can stretch 7 times more. Not only is this exciting, but this may be applied to nursing care scenes where those with weak legs can be supported. Let's look forward to an exciting future!



●手で上から軽く押すとボヨンと弾むような感触がある。電磁石を靴の底と接地面に入れ、磁力の反発を生かして浮力を保っている。「楽しく歩く」を理念とするリゲッタが万博で見せたものは、中小企業だからこそ発信できる「ワクワク」や「未来への期待感」。単なるショーケースにとどまらず、将来的には介護分野での活用も視野に入れている。

●デザインは大きなファスナー(YKK提供)をあしらった、円形をかたどったデザイン。リゲッタの若手社員がデザインに挑戦した。



●表面のラバー素材は山本化学工業の軽柔軟性にも優れた「AURORA®」を使用。リゲッタと山本化学工業は同じ生野区のものづくり企業。今回のプロジェクトがきっかけで協業がはじまった。

製作過程



初挑戦である「宙に浮かせる」ために、たくさん試行錯誤をした。



「空気」をかえる帽子

Hat that Changes 'Air'

出展企業

株式会社ヨシダ(YOSHIDA.,LTD)
ブローレンヂ(blurorange)
山本化学工業株式会社(YAMAMOTO CORPORATION)

協力企業

宇仁繊維株式会社
株式会社THE MARTIN lab
株式会社室内装飾ヒグチ アトリエ工房アンジュ
YKK株式会社
中大加工

概要

頭にあわせて自在に変化し、見るだけでワクワクする帽子。色が七変化するゴム素材を、縫い目を感じさせず、心地よく頭にフィットするようにつなぎ合わせています。そこにはベレー帽を長年製造してきた熟練の技術が。デザインのモチーフは受精卵。性別の違いが見た目に出ない「たまご」の時は、命の純粋さ、平等、可能性に包まれています。誰もが笑顔あふれる未来のため、この帽子が「空気」を変えることを願って。

Summary

In Japanese, the word 'air' also holds the meaning of 'atmosphere'. This hat can change its shape freely to fit the human head perfectly. Just looking at this hat can make one feel excited. This color-changing rubber material has no visible seams and yet is stitched to fit comfortably on any head. This skilled technique comes from years of experience in making berets. The motif of this design is a fertilized egg. At this point, when the difference in gender does not show, life is surrounded by purity, equality and possibility. We wish that this hat can change the 'air' so that the future can be overflowed with smiles.



●縫製が難しいラバー素材を頭にフィットさせるようにつなぎ合わせている。ベレー帽では国内トップの生産力を誇り、国内で唯一、編立・染色から縫製など帽子の全行程を一貫生産する体制を整えているヨシダだからこそ可能な、丁寧なもののづくりで実現している。「その帽子素敵ですね」という会話からはじまる笑顔が溢れる未来への希望を託した。



●素材は山本化学工業の「AURORA®」を使用、デザインは受精卵をモチーフとしてブローレンヂが手掛ける。命の始まりの純粋さと未来の可能性を繋ぎ、誰もが等しく尊い存在であることを表現した。

製作過程



帽子のデザインを、何度も変更しながら、話し合った。技術的な難しい要望にも応える。

BillyBillyzone FutuBilly

ゾーン展示コンセプト

「あらゆる出会いをつないでいく」

人は恋をするとビリビリと電流が走ったような感覚がするのだとか。

恋をするのは人だけではありません。
例えば、買ったばかりのお洋服に袖を通すとき、ときめきを感じませんか。
人はあらゆるモノ、コトに夢中になり、新しい「出会い」を求めてきました。

大阪にはそんな出会いをたくさんつないできた繊維産業の街「船場」があります。
このゾーンでは「船場」の企業が自慢の素材や技術を出会わせ、新しいときめきを生み出しました。
「船場」ともつながりのある「ビリケンさん」がキュービッドに変身。
キュービッドビリケンさんは今日もあらゆる出会いを見守っています。

共創の様子



出典企業で打ち合わせ。



展示品の一部は学生と共に手縫いで。
D.BRAND土岐氏も手伝う

展示前のお披露目会。



展示空間

入口にはキュービッドビリケンさんがお出迎え。



ゾーンの説明動画はロイスエンタテインメント製作。
船場の歴史や各企業の強みが紹介された。



米とエアを羽織る ビリケンさん

Billiken wearing rice and air

出展企業

北高株式会社 (HOKKO CO.,LTD.)
株式会社丸十 (Marujyu.CO.,Ltd)
株式会社太洋商店 (TAIYO SHOUTEN CO.,LTD)
株式会社ロイスエンタテインメント
(ROICE ENTERTAINMENT INC.)
大阪文化服装学院
(OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

協力企業

創新テック株式会社、田村駒株式会社、D.BRAND、
関西美術造形協会、フィールド・クラブ株式会社、
FES株式会社、株式会社松下工房、
株式会社マリンフオート

企画・デザイン

大阪文化服装学院 スーパーデザイナー学科、北高株式会社

パターン

大阪文化服装学院 ファッション・クリエイター学科

縫製

S.maison

概要

繊維産業の街「大阪・船場」ともつながりのあるビリケンさんを大阪文化服装学院の学生がキュービッドにデザインしました。幸せも経済成長も手に入れられるよう、今日もたくさんの出会いを見守ります。

ビリケンさんが着る服は株式会社丸十の着物地と、北高株式会社のプリント加工を施した株式会社太洋商店の合成皮革から学生が製作しました。

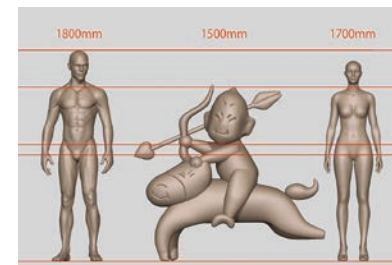
ビリケン像は株式会社ロイスエンタテインメントの3D模型データと協力企業のFES株式会社、フィールド・クラブ株式会社、株式会社松下工房、株式会社マリンフオート、関西美術造形協会の立体造形製作技術が組み合わされています。

Summary

This cute, round monument is known in Osaka as 'Billiken'. Billiken, god of 'things as they ought to be' has a deep connection with Osaka's textile cluster 'Semba'. He is transformed into a cupid to watch over happiness, abundance and encounters. The monument and clothes were designed by the students of OSAKA INSTITUTE OF FASHION. 'Billiken' is wearing kimono material by Marujyu.CO.,Ltd which is made from 'air', along with synthetic leather by TAIYO SHOUTEN CO.,LTD which is made from inedible rice. The design on the synthetic leather was printed using HOKKO CO.,LTD.'s waterless and eco-friendly technology. The monument was designed using 3D model data by ROICE ENTERTAINMENT INC. and was created using modeling technology under the support of FES Inc., FIELD CLUB INC., Matsushita Kobo Inc., Marine Float Co., Ltd., and Kansai Art and Molding Association.



●北高が参画する「船場テキスタイル」は船場の繊維企業が連携して商品の開発、生産だけでなく、ブランディングまで手掛ける取り組み。「船場テキスタイル」のシンボルでもあるビリケンさんを用いることで、「繊維の街・船場」をアピールした。



●ビリケンさんの素体は、平面デザイン画から、ロイスエンタテインメントが3D模型データを制作。顔もどんどん丸っこく愛らしく変化していく。



●データから関西美術造形協会の協力のもと、FES、フィールド・クラブ、松下工房、マリンフオートが立体造形を製作した。ビリケンの使用にあたっては田村駒が協力した。

出展企業



協力企業

創新テック株式会社、田村駒株式会社、D.BRAND、関西美術造形協会、フィールド・クラブ株式会社、FES株式会社、株式会社松下工房、株式会社マリンフオート



製作過程

一度、発泡スチロールで試作品を作成。衣装のフィッティングをする。

●ビリケンさんの着る服は出展企業の素材や技術、アイデアが結集したもの。素材、企業、来場者を引き合わせご縁を願って、大阪文化服装学院の学生と北高が「恋のキュービッド」をモチーフにデザインした。



エアふわきもの Kimono made from Air

出展企業

株式会社丸十 (Maruju.CO.,Ltd)
大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

協力企業

創新テック株式会社、田村駒株式会社、D.BRAND、
関西美術造形協会、フィールド・クラブ株式会社、FES株式会社、
株式会社松下工房、株式会社マリンフロート

企画・デザイン	大阪文化服装学院 スーパーデザイナー学科
パターン	大阪文化服装学院 ファッション・クリエイター学科
縫製	S.maison

概要

株式会社丸十が手掛ける「空気と絹」から作られた着物。
着物地に「POM (ポム) 繊維」を繊細な伝統技術で織り込んでいます。POM繊維とはCO₂と水素から作る合成樹脂を利用した糸。絹は古来より捨てることの無いサステナブル素材で、美容効果も期待できます。デザインは大阪文化服装学院の学生が担当し、表面にはポップなピリケン柄を施しています。伝統と新しさとも未来が会うことで、次世代へものづくりのバトンを託しています。

- 産地の織り職人や染め職人とともに細部までこだわりぬいた着物を提案する丸十が、着物だけではなく、その裏にある素材・技術にも気付いてほしいとの願いが込められている。



- POM繊維は、主にCO₂(二酸化炭素)と水素から生成されたメタノールを原料に、工業用樹脂(POM)を繊維化され「空気から作る糸」として注目されている。そのPOM繊維を日本の職人技で絹と織り合わせる挑戦をした。



製作過程

- 表面の柄は、学生がデザインし、ピリケンが和歌やバラの花束、ラブレターで愛の告白をする様子がモチーフ。

学生へ絹の効用を理解してもらい、デザインに生かしてもらおう。



資源米由来の エコフレンドリーな 合成皮革 Eco-friendly synthetic leather derived from inedible rice

出展企業

北高株式会社 (HOKKO CO.,LTD.)
株式会社太洋商店 (TAIYO SHOUTEN CO.,LTD)
大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

協力企業

創新テック株式会社、田村駒株式会社、D.BRAND、
関西美術造形協会、フィールド・クラブ株式会社、FES株式会社、
株式会社松下工房、株式会社マリンフロート

企画・デザイン	大阪文化服装学院 スーパーデザイナー学科、北高株式会社
パターン	大阪文化服装学院 ファッション・クリエイター学科
縫製	S.maison

概要

株式会社太洋商店が手掛ける資源米が原料の合成皮革。東日本大震災がきっかけの休耕田で育てられた福島県産米を活用しています。全て国内生産のため、輸送によるCO₂排出量削減にも貢献しています。デザインは大阪文化服装学院の学生が手掛け、服の表の花には、北高株式会社がプリント加工しています。プリント加工は水を使用せず、皮革とプリント加工の出会いから地球にやさしいファッションが生まれています。



- 食用に適さない古米や東日本大震災での休耕地・耕作放棄地等を活用して栽培した資源米をアップサイクルして製造された合成皮革「お米ッタン」を使用。素材や製品等幅広く太洋商店が、震災復興や農業・地域活性化、フードロス問題という社会課題の解決を訴求した。

Summary

This synthetic leather is made from inedible rice which was made in Fukushima Prefecture, where the rice fields have ceased cultivation due to the wake of the Great East Japan Earthquake. The printed patterns are designed by the students of the OSAKA INSTITUTE OF FASHION and the flowers on the dress are printed by HOKKO Co., LTD. The print processing is waterless, which prevents water pollution. By harmonizing synthetic leather and print processing, you can also enjoy eco-friendly fashion.



- 服の表の花には、「お米ッタン」に、プリント生地に強みを持つ生地製造卸の北高がプリント加工している。プリント加工は水を使用しない染色加工で環境にも配慮されている。皮革へのプリント加工は万博での共創で初めての取り組み。裁断には創新テックがレーザーカット加工の協力をした。



製作過程

学生が企業へ見学して、素材を知る。



サステナAR クローゼット Sustainable AR Closet

出展企業

株式会社ロイスエンタテインメント (ROICE ENTERTAINMENT INC.)
大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

協力企業

創新テック株式会社、田村駒株式会社、D.BRAND、
関西美術造形協会、フィールド・クラブ株式会社、
FES株式会社、株式会社松下工房、株式会社マリンフート

概要

QRコードをかざすと展示物がスマートフォンの中で浮き出て、裏側や生地などの細かなところまでじっくりと見る事が出来ます。株式会社ロイスエンタテインメントが手掛けるAR技術で、現実には存在しないものを現実の景色に加えることが可能。現実の服を3Dデータにすることも技術力が必要です。最先端の技術が会うことで、未来はどんなファッションが生まれるのか、想像を与えるきっかけを提供しています。

Summary

By holding up your smartphone to a fabric for instance, you can take a closer look of the back side and details of the fabric. This AR technology makes it possible to add things that do not exist in reality to the real scenery. Making real fabric into data also needs technology. Fashion has changed together with the changes in humanity. What can new technology bring about to future fashion?



●AR(拡張現実)という現実世界にデジタル情報を重ね合わせて表示する技術で、手持ちのスマートフォンからQRコードをかざすとじっくりと展示物を見ることが出来る。



●イラスト・実物などから、プロダクト模型などの3Dデータ制作、3Dプリンターでの造形を一貫して製作できるほか、3Dデータをメタバース空間へも配置できるIT企業ロイスエンタテインメントが、新しいファッションの「魅せ方」を提案する。繊維業界と交流することで、新たな価値創造に挑戦している。



学生にAR技術を説明。

KuruKuruzone

Re:White to Re:Black

ゾーン展示コンセプト

「伝統と革新はめぐり続ける」

「白黒つける」のように、「対(つひ)」の象徴として白と黒はよく用いられます。「ゴミと宝物」「古さと新しさ」一見、私たちの世界には多くの「対」があるように思えます。

しかし、日常生活では白と黒を分けられる方が難しいのではないのでしょうか。捨てるものが貴重な資源に。古いと思っていた技術が今や最先端の技術に。環境や時代、視点が変われば、「対」も変わってしまうものです。

捉え方を変えれば、「対」は循環することに気づくはず。いつもの「枠」を越えて、白と黒の世界から「伝統と革新」を感じてみましょう。

共創の様子



企業(学生)が展示企画をプレゼン!!



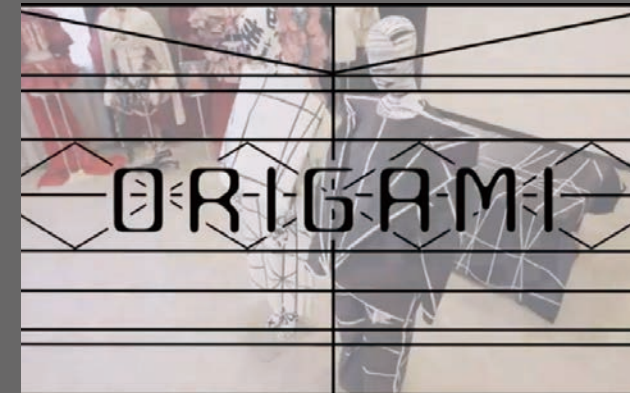
先生は、製作の指導・管理だけではなく学生と企業の橋渡しなど様々な面で心強いサポートをいただいた。



学生はデザイナーだけではなく、パターンや縫製など学科の枠を超え一丸となって製作した。

展示空間

素材紹介や各展示制作のイメージ動画を冒頭で掲示した。



展示空間は黒と白を背景に対照的な印象を打ち出した。展示の後ろには折り線を模したタペストリーを飾っている。



出展企業

大阪文化服装学院
OSAKA INSTITUTE OF FASHION

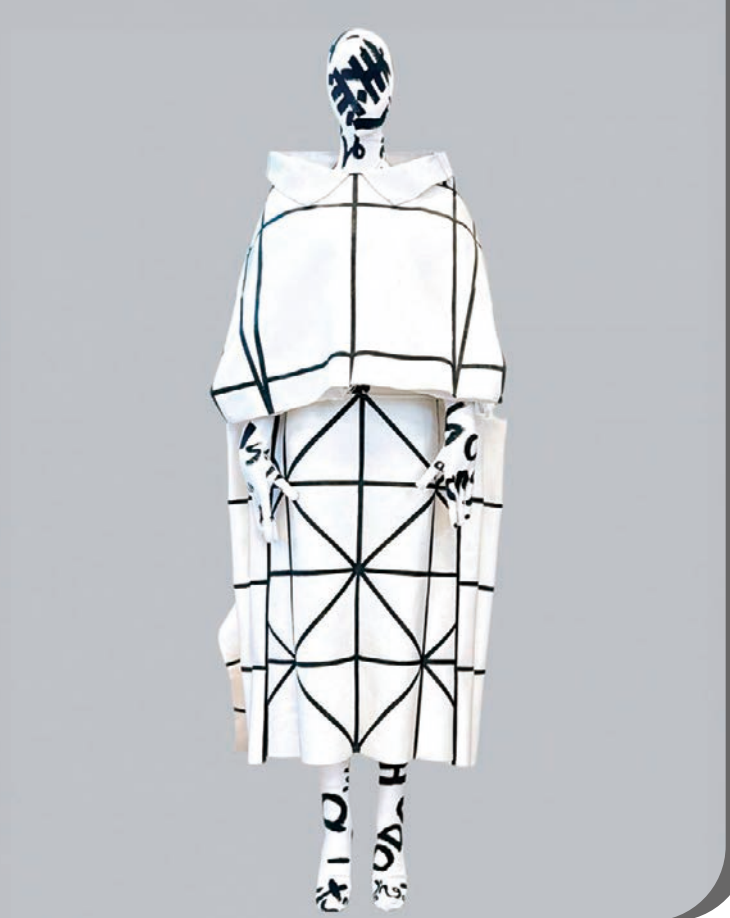
株式会社 京都紋付

吉村解体

三恵メリヤス株式会社

協力企業

和田メリヤス株式会社



折り紙型エアバッグ リサイクルスーツ ORIGAMI styled recycled airbag suits

出展企業

大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

株式会社吉村解体 (Yoshimura Industry co.ltd.)

企画・デザイン 大阪文化服装学院 スーパーデザイナー学科

パターン・縫製 大阪文化服装学院 ファッション・クリエイター学科

副資材提供 株式会社アイリス YKK株式会社

概要

1枚の布から、折り方を変えると「シャツ」や「ジャケット」など2つの服ができるリサイクルスーツ。1枚の紙から様々な形になる「折り紙」をヒントに大阪文化服装学院の学生たちが考えています。ムダになる服を減らすことにもつながります。さらに、丈夫で耐久性は高いが、使い道が無いため捨てられる自動車のエアバッグを、株式会社吉村解体が適切に処理し、素材として使用しています。

Summary

This monument displays 2 types of recycled suits that can be made by folding just 1 piece of cloth. It can turn into a 'shirt' or 'jacket' just by folding the cloth differently. This idea came from young students who were hinted from Japan's traditional 'ORIGAMI'. This display uses automobile airbags that are wasted as there is no way to reuse them, although they are strong and durable. In such a world as where 300 billion pieces of clothes and 10 million airbags are wasted yearly, we wish that we can change the future.



●表面の素材は、使い道がないためリサイクルできないことが多い車のエアバッグを使用。廃棄自動車を適切に解体し、レアメタルなどの資源や中古部品を再生し販売する吉村解体が提供している。



●折り紙から着想を得た、1枚の布でつくる服。国内屈指の実力校、大阪文化服装学院の学生が、シャツとジャケット、またはパンツとスカートへと形を変える2種類のパターンを考案した。表面には折り線をデザインとして取り入れている。服をたくさん持たなくても着こなしを楽しめるため、資源の節約にもつながる。

製作過程



エアバッグの生地を服として活用するため、加工方法に加え、折りによって形が変わる構造ゆえのサイズ設計など、多くの課題があったが、学生たちは試行錯誤を重ねながら完成へと導いた。



漆黒染め リボーンスーツ Deep black-dyed reborn suits

出展企業

株式会社京都紋付

大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

企画・デザイン 大阪文化服装学院 スーパーデザイナー学科

パターン・縫製 大阪文化服装学院 ファッション・クリエイター学科

副資材提供 株式会社アイリス YKK株式会社

概要

「黒を極めた黒」に染めたスーツ。京黒紋付染めという、今では稀少になった日本の伝統工芸を株式会社京都紋付が活用しています。株式会社吉村解体の自動車のエアバッグ素材を染めあげています。素材や形によって微妙に染め方を変えており、熟練の技術が必要です。染めた前後で違った表情を楽しむことで、服を長く着ることにつながります。大阪文化服装学院の学生たちがデザインすることで、日本のものづくりの伝統とそれを守るために受け継がれた技術を次世代に伝えています。

Summary

Deep black-dyed suits. This traditional craftsmanship is called 'Kyo-kuromontsuki zome' which is very rare nowadays. The suit uses airbag materials from cars. This dyeing method requires skilled technique. By enjoying the different look before and after dyeing, you can enjoy wearing them for a long time. As the displays are designed by young students, Japan's tradition of making quality products and techniques will be passed on to the next generation.



●「黒紋付」の「黒」のみを100年以上染め続けてきた京都紋付が車のエアバッグを染め、黒染めの技術を発信した。エアバッグを染めるのは今回が初めての挑戦。エアバッグの種類が異なれば染まり方も異なるため、1つ1つ工夫しながら、熟練の技で染め上げた。



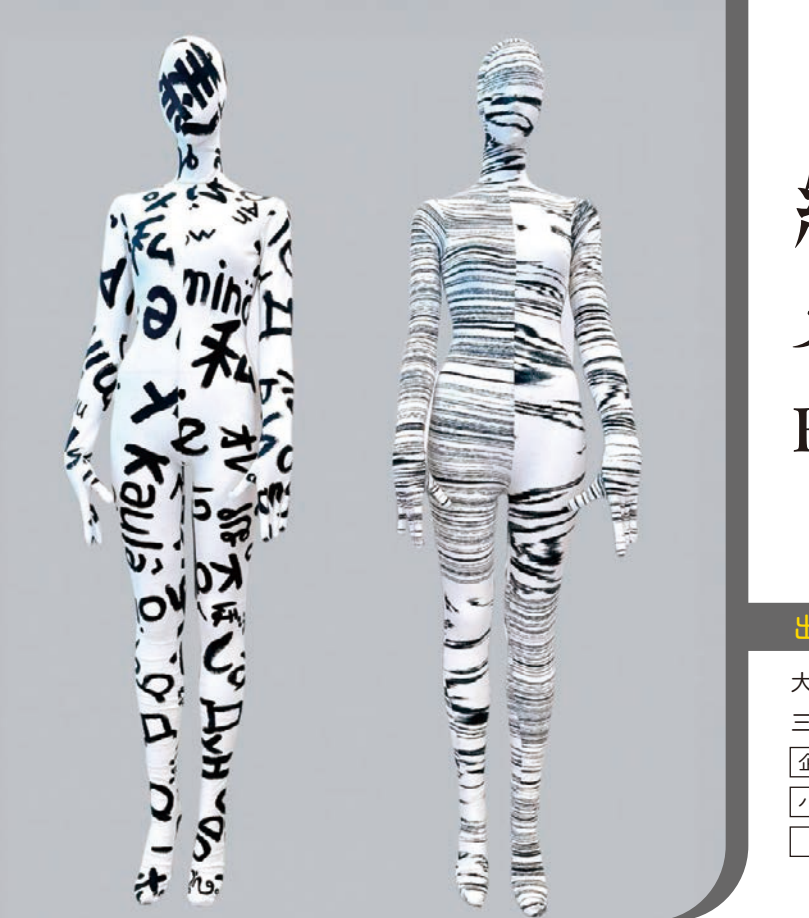
●タペストリーのグラデーション染めにおいても、普段は製品1着程度の大きさの加工を行うが、今回のような2m四方程度の大きさのグラデーションを染めるのは非常に困難で時間がかかる作業となった。



製作過程

●京都紋付は表面のコーティング加工で光の反射を減らしてより黒く見せる「深黒(しんくろ)加工」で黒を極める。黒染めすることによって、1つの衣服を長く着続けられることができサステナブルにつながることを訴求した。

学生に黒染めの様子をレクチャーする。伝統の技術を次世代へつないでいく。



編み直し ボディスーツ Re-knitted body suits

出展企業

大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

三恵メリヤス株式会社 (Sankei Meriyasu co.,Ltd Inc.)

企画・デザイン 大阪文化服装学院 スーパーデザイナー学科

パターン・縫製 大阪文化服装学院 ファッション・クリエイター学科

副資材提供 株式会社アイリス YKK株式会社

概要

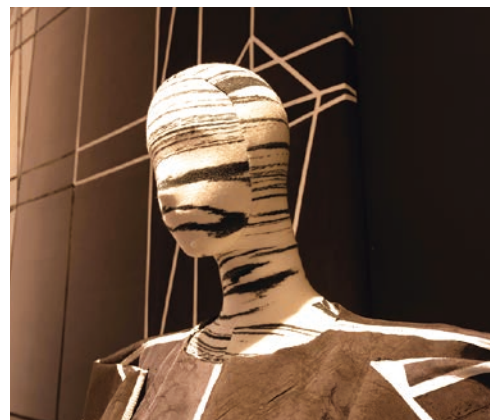
不規則な模様が楽しいやわらかな綿のボディスーツ。
編み機で一度編んだ生地が学生が模様(私、I、Iなどの世界の1人称)を描き、それを糸に戻し、さらに、もう一度編み直すという難しい技が使用されています。編み直すことで予測不可能な面白味のある生地に生まれ変わります。三恵メリヤス株式会社の綿生地はGOTS認証(オーガニック繊維製品の国際基準)をクリアするなど環境にも人にも優しいものづくりをしています。大阪文化服装学院の学生の斬新なアイデアにより、手間をかけた生地に新しさと深みがもたらされています。

Summary

Soft bodysuit that can be enjoyed with irregular patterns. This is complexly made by students who first drew patterns on a knitted cloth, then unraveled it back to thread, and re-knitted it into a new pattern. By re-knitting, it was re-born into an unpredictable and interesting designed cloth. The cloth is organic and has passed strict regulations and is friendly to the environment and human beings. The innovative ideas and efforts by the students brings about newness and depth to the fabric.



●模様を描いた布地を端から引っ張り、糸が切れないように力加減の工夫をしながらほどこき、またそのほどいた糸を吊り編み機で再度、編み直している。布のリメイクの極限を体感できる。同じ柄の作り直しができない緊張感があった。



●編み直しで生まれる新しい模様は、再現不可能な唯一無二の偶然が編み出す模様となる。

製作過程



学生が企業訪問。実際の生産現場を学ぶ。

●ボディスーツの模様は学生がデザインした。「私」、「I」、「I」などの世界の1人称を布地に描き、その布地をさらに編み直すことで言葉が混ざり合う柄を表現している。



太陽光で動く ヴィンテージ 吊り編み機

Vintage loopwheel knitting machine that runs by solar energy

出展企業

三恵メリヤス株式会社 (Sankei Meriyasu co.,Ltd Inc.)

大阪文化服装学院 (OSAKA INSTITUTE OF FASHION)

協力企業

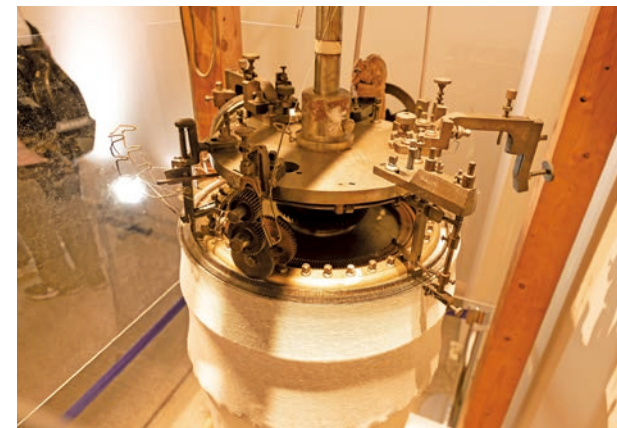
和田メリヤス株式会社

概要

三恵メリヤス株式会社の綿生地をゆっくりと編んでいる機械。生地は大阪文化服装学院の学生たちがデザインしました。最新の機械よりも編むスピードが遅く、今では日本の一部でしか使われていません。しかし、小さい電力で動かすことができるので、太陽光で生まれたわずかな電気を活用することができます。古い機械が今では最先端をゆく環境にやさしい技術に生まれ変わっています。

Summary

This loopwheel knitting machine was used to knit the cloth designed by the students. Compared to the new machines, the pace is slow and is used only in limited places in Japan. On the other hand, it can move with less electricity, using solar energy. This made the traditional machines become advanced eco-friendly machines. Let's take a moment to rethink how our future clothes should be made.



●家庭用コンセントで十分動作するほど省エネルギーで稼働できる。太陽光の時間の流れに沿って、古い編み機がゆっくり確かに編む。服づくりのスピードとエネルギーを、もう一度考え直すきっかけを提供した。故障するとパーツを作る工場は世界に存在しないため直すことができない。



●編んでいる生地は、三恵メリヤスがオーガニックテキスタイル世界基準のGOTS認証を取得したもの。環境にも人にも優しく、ふんわりとした風合い。

製作過程



●展示では、実際に動き、コットン生地をゆっくりと編んでいる様子を見ていただいた。実際に編まれた生地を触ることで、来場者からは驚きと感動の声が上がった。



吊り編み機は和田メリヤス提供。和歌山県から歴史ある吊り編み機を慎重に運んだ。学生も実際の工場を見学。

KiraKirazone

watch over the future

ゾーン展示コンセプト

「人を、地球を、未来を美守る（みまもる）」

どんな未来も人はハダカじゃいられない。
ではファッションは何のためにあるべきでしょうか。

美しくなるため 文化を守るため
健康になるため 平和を願うため
環境を守るため 地球を守るため

私たちはファッションを通して何ができるのでしょうか。
人を、地球を、未来を考え続け、美しく守り続ける。
いまここから未来を創造していきましょう。

共創の様子



月1回の定例ミーティングの様子



植物を布に生やすなど専門外の
挑戦があったことから、
専門機関に相談にいった。



展示前に配置のシミュレーション。空間で魅せていく。

展示空間



植物が生い茂り自然と人の共生を表現した「Wet Zone」と
人類の未来、平和や自然環境保護を訴えた「Dry Zone」に分けて、
「美守る（みまもる）」を空間で提案する。
空間装飾はマツオインターナショナル、松尾産業が担当した。



出展企業

MATSUO
INTERNATIONAL



桃 谷 順 天 館
SINCE 1885

オーミケンシ

TOKI

協力企業

松尾産業株式会社、アルタイルベガ、関西美術造形協会、株式会社サンウェル

透明にみえる服 Clothes of transparency

出展企業

マツオインターナショナル株式会社

(Matsuo International Corporation)

株式会社桃谷順天館(Momotanijuntenkan Ltd.)

オーミケンシ株式会社(Omikenshi Co.,Ltd.)

株式会社東紀繊維(TOKI SEN-I Co.,LTD.)

総合監修

マツオインターナショナル株式会社 谷口 直樹

デザイン

デザイン：松尾産業株式会社 岡座 巧

パターン・縫製

松尾産業株式会社 古川 雅子・高橋 憂奈

カメレオン造形

アルタイルベガ 西峰 仁志

協力

about.her

概要

周囲の植物と溶け込み自然と一つになれる服。「いっそ人間が自然に
溶け込んでみる？」という発想から生まれました。一見すると植物の中
にたたくグレー色の大きなドレス。

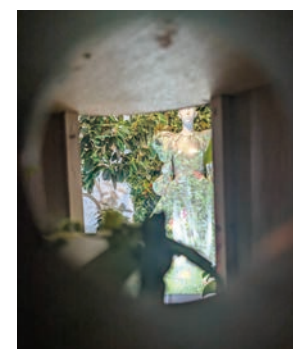
ところが、カメレオンの造形物から覗くと…ドレスが周りの植物に同
化して、まるで「透明人間」に変身したように見えます。光を反射する
再帰性反射生地の特徴を生かして、背景の植物映像を投影する事で
「透明」を演出しております。

婦人服の製造・企画・販売を手掛ける株式会社マツオインターナシ
ョナルがデザインし、再帰性反射生地の内側には老舗化粧品メーカー
の株式会社桃谷順天館が開発した化粧成分を練り込んだ「モイスト
ファイバー®」を用いて、地球環境に優しい生地開発を手掛ける株
式会社東紀繊維が生地を製造しています。

Summary

This dress can blend into the green surroundings and
become one with nature. This came from the idea ‘what if
human beings can blend in with nature?’ If you peek from
the chameleon’s eye, you can see the dress blend in with the
surrounding plants. It is like becoming an invisible person.
An image of plants are projected on special fiber that
directly reflects lights. This expresses ‘transparency’ by
projecting an image of plants to the retroreflective material.
Design: Matsuo International Corporation.
‘Moist Fiber’ (used on the reverse side): Cosmetic
ingredients developed by Momotanijuntenkan Ltd. is
blended into the eco-friendly fiber made by TOKI SEN-I
Co., LTD.

●覗き穴を除くと緑に同化した展示をみ
る体験ができる。体験には連日行列が並
んだ。



●覗き穴はカメレオンで遊び心を。カメレオ
ンはアルタイルベガ、関西造形協会は製作・
協力した。

(デザイナーのひとこと)

●投影の観点から、正面からご覧いただいた際にで
きるだけ平面に見えるようデザインしており、シル
エットのみで意味を持たせる構成。
人間が何かを生み出す際には正確な直線を用い
て設計し、その無機質さが人間の営みを象徴す
る。一方、自然界には完璧な直線は存在せず、ほ
ぼ曲線で構成される有機的な形態を有している。
本作品では、その有機的な要素をシルエットに取
り入れることで、人間と自然が共存しているイメ
ージを表現している。ヘッド部分は花の蕾と葉をモ
チーフとしており、人間と自然の共存がまだ蕾の段
階にあること、そしてこれから未来に向けて本当の
共存を築いていく過程を象徴的に示している。



製作過程



はじめて扱う素材である
再帰性反射材の投射実験が続いた。



光合成する服

Clothes that photosynthesize

出展企業

株式会社東紀繊維(TOKI SEN-I Co.,LTD.)	
オーミケンシ株式会社(Omikenshi Co.,Ltd.)	
マツオインターナショナル株式会社 (Matsuo International Corporation)	
株式会社桃谷順天館(Momotanijuntenkan Ltd.)	
総合監修	株式会社東紀繊維 大下 喜昭
デザイン	松尾産業株式会社 岡座 巧
パターン・縫製	松尾産業株式会社 古川 雅子・木村 菜乃
モイストファイバー生地開発	株式会社アイガット、オーミケンシ株式会社、株式会社桃谷順天館
立体投影映像制作	立命館コンピュータクラブ 尾崎 真央、仮屋 菫純、棚橋 柊太、長張 快
協力	大阪府立環境農林水産総合研究所、YKK株式会社

概要

布地に植物を植え付け自然との共生を表現した服。「大阪を緑豊かに」「じゃあ、人が植物をまっとしてみる？」そんなユーモアから生まれました。地球環境や人にも優しい生地を開発する株式会社東紀繊維が手掛けた生地には、老舗化粧品メーカーの株式会社桃谷順天館が化粧水の成分をレーヨンに練り込んだ、お肌に潤いやなめらかさを与える特許繊維「モイストファイバー®」を使用。土に還る素材のため肌にも地球にも優しい。同展示では立体映像技術を用いたミニゲームもあり、「モイストファイバー®」が肌に起こす効果を体験できる。



●桃谷順天館、オーミケンシと開発した化粧水を練りこんだ繊維「モイストファイバー」を東紀繊維が土に還る環境負荷の少ない布地「美衣」に仕立て、その生地に植物を発芽させた。種の選定には大阪府立環境農林水産総合研究所が協力した。



(デザイナーのひとこと)

●今回の衣装は、何よりもまず子どもたちにご覧いただきたいという思いで制作した。未来を担う子どもたちが、この万博で本作品に触れ、面白い・不思議だと感じることを願った。そして、その体験が「服はただ着るもの」という枠を超え、未来の技術や環境問題への関心につながるきっかけになってほしい。本作品は、将来的に生地自体が光合成し酸素を排出することで、着るだけでCO₂削減につながる日常着など、より持続可能なライフスタイルのヒントとなることを目指して制作している。この万博での出会いが、次の万博や未来の社会における新しい発想や技術の芽生えにつながることを心から願った。

製作過程



参加企業、事務局も含めて、自宅に持ち帰って植物を生やす実験を重ねた。根が定着しない夏の暑い時期は枯れるなど課題を一つ一つ解消していった。

●会場内には「モイストファイバー」の効果がわかりやすい立体映像技術のミニゲームがあり、多くの子供たちが楽しんだ。



香りの果実（み）

Fruits of fragrance

出展企業

株式会社桃谷順天館(Momotanijuntenkan Ltd.)	
マツオインターナショナル株式会社 (Matsuo International Corporation)	
オーミケンシ株式会社(Omikenshi Co.,Ltd.)	
株式会社東紀繊維(TOKI SEN-I Co.,LTD.)	
総合監修	株式会社桃谷順天館 杉野 哲造
映像、香り提供	株式会社桃谷順天館 CHEF de BEAUTÉカンパニー
動画制作	株式会社桃谷順天館、株式会社CrestLab
映像制作	株式会社桃谷順天館 北田 真司・古田 充子
香りの果実制作	オーミケンシ株式会社 明田 英之、株式会社桃谷順天館 宇山 彩香

概要

音と映像に合わせて“香り”も感じる未来の暮らし。目印のある場所に立つと、糸などで作られた「果実」を模した造形物から映像に合わせた香りを体験できます。従来の技術では、香りを切り替えると匂いが混ざったり、前の香りが残って次の香りを妨げるなどの課題があり、リアルタイムで香りを変えることは困難とされてきました。これを可能にしたのが、0.1秒単位で香りを届けるデジタル香りコントロール装置と、最初から最後まで同じ香りが続くシングルノートという調香技術です。シングルノートでは使用できる成分が限定され、豊かな表情を示す香りを創るには熟練の調香師の腕が必要とされます。映像には、ファッション業界の未来へのメッセージを込めました。捨てられたものが新たに生まれ変わり、再び私たちのもとへ戻ってくる——。そんな素敵な未来を描いた映像です。香りと映像は創業140年の老舗化粧品メーカーである株式会社桃谷順天館が担当し、壮大な自然や日本景観美・心に響く言葉・伝統的な職人の技・そして日常の何気ない瞬間など、これらの美しさを五感で体験できるように表現しています。香りは自分自身を表現する特別なファッションの一部であり、未来でも私たちの心を豊かにするものです。AIやデジタル制御というテクノロジーと人の感性・経験を融合することで、初めて実現した革新をご体験ください。

●桃谷順天館は産学連携やスタートアップ企業、他業種と積極的に連携し、イノベーションを起こしていく。



Summary

In this video, you can experience future life by enjoying scents alongside sounds and motion pictures. By standing in the designated place, you can experience a scent coming from a ‘fruit’ made by thread. Under the conventional technology, when scents were switched, the previous scent still existed and prevented the next scent which made it difficult to change scents on real time. What made this possible is the digital scent control technology which can deliver scents in 0.1 seconds and perfuming technology called ‘single notes’. ‘Single notes’ can only correspond to a limited number of ingredients, so a skilled perfumer will be required to create a fragrance that shows a rich range of expressions. The fragrance will express not only the magnificence of Japan’s nature, but also words that can touch your heart, traditional craftsmanship and casual moments of everyday life. Such beauty will be expressed through fragrance, which is a special part of fashion; to express oneself and to enrich our hearts in the future.



映像製作は初の試み。AIを駆使し苦戦しながら映像を制作した。



出展企業

オーミケンシ株式会社(Omikenshi Co.,Ltd.)
株式会社東紀繊維(TOKI SEN-I Co.,LTD.)
マツオインターナショナル株式会社 (Matsuo International Corporation)
株式会社桃谷順天館(Momotanijuntengan Ltd.)

概要

海亀を模したオブジェ。世界全体で毎年約800万トンのプラスチックごみが流出し海洋汚染が問題になっております。この海亀のオブジェに使用した素材は、オーミケンシ株式会社が新開発したプラスチックのような撥油性機能を備え食品容器や梱包資材に使用する事ができ、海中で分解することできる地球環境に優しいセルロース100%の紙素材「MAGNATURE®」。実は、映像の中にも海亀が登場しております。海亀が暮らす豊かで美しい海とその情景をより鮮明にする香りをご体験いただきます。ぜひ、お探してください。

おとぎ話「浦島太郎」は目先のことばかり考えて悲しい結末を迎えました。皆様が海洋汚染について考えるきっかけとなれば幸いです。

※プラ島太郎®は一般社団法人オンドの登録商標です。



●マツオインターナショナルとの共創で、空間でも魅せていく。



プラ島太郎 ‘Pla-shima Taro’

総合監修	オーミケンシ株式会社	明田 英之
映像、香り制作	株式会社桃谷順天館	
プラ島太郎制作	オーミケンシ株式会社	明田 英之
商標協力	一般社団法人オンド	

Summary

These objects imitate sea turtles. Every year, a total of 8 million tons of plastic waste is causing marine pollution worldwide. The displayed turtles are made from paper material ‘MAGNATURE®’ developed by Omikenshi Co.,Ltd. which is 100% cellulose. This material is nature-friendly and can decompose under the sea. It is oil repellent and has a similar function to plastic which can be used for food containers and packing materials.

The name ‘Plas-shima Taro’ comes from ‘plastic’ and ‘Urashima Taro’ which is a title of a Japanese folktale. This folktale is about a young fisherman named Urashima Taro. He saved a tortoise that was being tortured by human beings, and the tortoise took him to a beautiful castle in the ocean. When he decided to return to the land, he was given a treasure box which he had promised never to open. But, because he could not overcome his desire, he turned into an old man once he opened the box. These objects were made with hope to give an opportunity to rethink about marine pollution.



●オーミケンシの担当者がオブジェを制作。地道なコツコツを積み重ねていった。



製作過程

製作する中で徐々に注目される。メディア取材も増えていった。



概要

日本の伝統的な文化である折り紙の一つで、平和の象徴と考えられる「折り鶴」。

世界中で紛争が絶えない今もなお、平和を願って世界各地から広島・長崎・沖縄にたくさん送られております。そこで飾る期間を終えた折り鶴を溶解し糸に再生したレーヨン素材販売のオーミケンシ株式会社の「折り鶴レーヨン®」を用い、内側には化粧水成分を練り込んだ「モイストファイバー®」を用い、人にも地球環境にも優しい生地を開発いたしました。

マツオインターナショナル株式会社の若手デザイナーが次世代に平和をつなぐ意味を込めて子ども服と未来へはばたく空間を仕立てました。



●両側に広島から送られた鶴を装飾であしらう。ドレスの一部の生地をサンウェルが提供。

希望の服 Clothes of hope

出展企業

オーミケンシ株式会社(Omikenshi Co.,Ltd.)
株式会社東紀繊維(TOKI SEN-I Co.,LTD.)
マツオインターナショナル株式会社 (Matsuo International Corporation)
株式会社桃谷順天館(Momotanijuntengan Ltd.)

総合監修	マツオインターナショナル株式会社	牧井 亮
デザイン	松尾産業株式会社	岡座 巧
パターン・縫製	松尾産業株式会社	古川 雅子・高橋 憂奈
映像、香り制作	株式会社桃谷順天館	
折り鶴レーヨン開発	オーミケンシ株式会社	
寄贈折鶴提供	広島市国際平和推進部	推進課
折鶴生地提供	株式会社サンウェル、広島市	山本株式会社

Summary

‘Origami cranes’ are symbols of peace. Conflicts still continue worldwide and ‘origami cranes’ are sent from all over the world to Hiroshima, Nagasaki and Okinawa, praying for peace. After the ‘origami cranes’ were displayed for a certain period of time, they have been recycled into threads and are remade into rayon material by Omikenshi Co.,Ltd. (‘Origami rayon®’). The inner side of the material ‘Moist Fiber®’, contains moisturizer which is friendly to both humans and the environment. The young designers from Matsuo International Coporation designed the ‘Clothes of hope’ with a meaning to pass peace to the next generation. In the video, a young girl wearing a recycled dress is holding a rose wishing for peace. Please enjoy the scent of rose adapted to the video.



(デザイナーのひとこと)

●純白のドレスは「香りの果実」映像の中にも登場。少女が平和の願いを込められたバラとともに折り紙を捧げるシーンでは、バラのエlegantな第一印象の裏に隠された強い生命力が、さわやかな凛とした香りであなただを包む。本作品は、世界各国から広島に集まった千羽鶴を使用し、その折り鶴を装飾としても取り入れた衣装。純白の鶴のワンピースには、願いや折り(白)が込められており、そこから折り紙が叶い、多様な未来へ羽ばたいていく姿(レインボー)、あるいは折り紙が世界に広がっていく姿にも見える。一方で、世界中のさまざまな個性を持つ千羽鶴(レインボー)が純白の鶴へと戻る様子は、調和・本質の共有・純粋な折り・原点回帰といったイメージを感じさせる。



製作過程

素材提供、デザイナー、空間デザイン、パタンナー全員の力が合わさって作品は作られていく。

出展企業コメント



オーミケンシ株式会社

大阪・関西万博では、当社の原料と技術を発信し、未来を見据えた共創の機会を得ることができました。メディア露出による反響から新たな取引先候補も生まれ、今後はこれらのつながりを具体的な成果へと結びつけたいと考えています。展示物制作を通じて自社の強みを示せたことは大きな収穫でした。展示を目的とせず結果を重視し、新たな挑戦を続けます。最後に、最後に、展示物を作成したチームの皆様、運営事務局様、そして協力企業様に心より感謝申し上げます、今後も共創できることを願っています。

明田 英之
(オーミケンシ株式会社 ライフスタイル営業部 副部長)



企業紹介

レーヨン糸・各種混紡糸、各種レーヨン綿、不織布の加工及び販売企業。不織布の加工及び販売企業。現在はセルロースの研究技術を軸に生分解性や植物由来の特性を活かしサステナブル素材の提供や、生活用品や食品事業も展開している。



株式会社京都紋付

万博での出展を通じ、汚れた服でも染め替えによって再び着られるという価値がまだ十分に知られていないことが分かりました。しかし来場者の多くが仕上りの美しさに驚き強い関心を示したため、今後は染替の魅力をさらに広く発信し、服を長く大切に楽しむ文化を育てていきたいと考えています。また染替を実際に体験してもらうことは、京黒紋付染めの継承にもつながり、その価値を次世代へ確実に伝えるために重要な役割を果たすと確信しています。また今後は国内だけでなく、海外にも染替の魅力を発信していきたいと思っています。

荒川 優真
(株式会社京都紋付 専務取締役)



企業紹介

黒紋付の黒色だけを100年以上染めてきた染色会社。独自の加工により、更に深い黒に見せる「黒を極める」技術を持つ。素材を黒染めすることで、一着の衣類を二度楽しめつつ衣類の破棄削減にも貢献できる。



株式会社ケアファッション

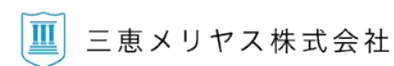
最初は所属チームが消滅してどうなるかと心配になりましたがWAKUWAKUチームに快く迎えて頂き、普段お付き合いのない企業様とプロジェクトを進める事で、自身の領域の狭さを知るとともに新しい領域に触れることで思考の枠が広がったと思います。これを機に多種多様な業界に関心を持ちつつ視座を高め、超高齢社会に貢献していきたいと思っています。また、この度、万博に来場者としてではなく、スタッフとして参加できたことはまたとない機会であり大変光栄でした。

田邊 寛啓(事業部長)
大畑 篤司(営業部長代理)
辻村 公明(商品チームマネジャー)
無関 由規(直販チームマネジャー)
光川 奉信(営業部)



企業紹介

加齢に伴う体型変化や身体機能の低下をサポートしつつ、デザイン性にも拘った「ユニバーサルファッション」、介護を必要とされる高齢者をサポートする「介護用衣料品」を、独自の物流システムを通じて提供している。



三恵メリヤス株式会社

日本を挙げたお祭りに参加できて一生の思い出になりました。特に1週間に20万人、一日に約3万人の人たちと触れ合う体験は、町工場としては想像を絶する人のエネルギーのうねりでした。印象深かったのは、子供たちが太陽の光を集めた力で糸と針が動いて着ている洋服の1コースが数秒かけてできるのをじっくりと見続けてくれたことです。ずーっとくっついて見てくれている子もいました。こういった体験をもっと子供たちにしてもらいたいと考え、会社の入り口に今回の展示物を飾り、見て楽しめるオープンファクトリー化を考えています。

三木 健(三恵メリヤス株式会社 社長)
尾崎 正和(三恵メリヤス株式会社 副社長)
小西 史也(三恵メリヤス株式会社 生産統括)
藤井 秀吉(三恵メリヤス株式会社 生産管理)
田中 孝典(モリリン株式会社)
和田 安史(和田メリヤス株式会社 社長)



企業紹介

大阪都心に近い中崎町に縫製工場があり、日本製・大阪製にこだわった、肌着、Tシャツなどのカットソーを製造。国際オーガニック認証「GOTS」の製品認証を取得した日本で初の100%オーガニックコットンを使用する。

出展企業コメント



株式会社太洋商店

弊社にとって初めての事づくしでしたが、勇気を出して挑戦したからこそ非常に貴重な経験を得られました。

会場で実際に出展している中で、来場者の方々へ直接思いや考えをお伝え出来た事が印象深いです。日本人のみならず様々な世界の方々に興味を抱いていただき、真剣に出展内容に耳を傾けて頂け、また率直な意見交換が出来たので、今後の製品開発に向けてブラッシュアップしたいと思います。3年間の期間はあっという間に終わりを迎えましたが、今回のプロジェクトに携わって頂いた企業様方と今後も共創を続けたいと思います。

東出 達也(株式会社太洋商店 代表取締役社長)

中安 瞳(株式会社太洋商店)

土岐 忠(D.BRAND)

中安 清久(株式会社太洋商店 課長)

石本 惇(株式会社太洋商店 課長)



企業紹介

「お米ッタン」のような素材生地や祖業の生地卸のみならず、手袋、アイソレーションガウン等と幅広く製品も扱っている。社員一人ひとりがエキスパートとなり、顧客のどんなニーズにも細かく対応している。



株式会社東紀繊維

光合成する服を開催期間1週間ベストな状態で本当にお披露目できるのかハラハラドキドキで当日を迎え想像以上の仕上がりに大阪の繊維・ファッションのすごさを体感しました。来場者の視線がにこやかに光合成する服へ向けられているのを会場で見れたこと、本当にこのプロジェクトの一員として参加でき誇りに感じました。この経験をもとにステップアップし業界の垣根を飛び出しビジネスチャンスを広げてまいります。

大下 喜昭(代表取締役)

建部 朋壮(専務)

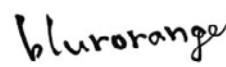
大下 智輝(営業)

伊藤 爽祐馬(営業)



企業紹介

自社の製造拠点で、環境に配慮した高品質な生地の企画・製造・販売を行う。糸からこだわる高品質なもののづくり、丁寧かつ熟練した職人技術の維持・継承している。布地「美衣」は、「モイストファイバー」を配合し、土に還る環境負荷の少ない素材。



ブローレンヂ

未来のジェンダーフリーな宇宙ドレスのデザインを担当しました。メンズマネキンに着せて展示しましたが、来場者から「え!?男性も着られるの?ワクワクする!」と驚きと喜びの声を直接いただきました。多様な年齢層の方が笑顔で写真を撮られる姿を見て、デザインが多くの人に共感を得られたことを実感しました。この万博で、ジェンダーフリーの価値観が日本社会に広がっていることを肌で感じ、多様性デザインの可能性を再確認できました。今後は貴重なフィードバックを活かし、ジェンダーフリーなファッションを世界へ発信していきます。

富岡 智世(代表)



企業紹介

ユニセックスなエレガント服を製作・販売するアパレル企業。認知心理学の錯覚をデザインに取り入れ、骨格等に左右されず美しく着られる洋服を展開。トランスジェンダーなどだけでなく、標準サイズが合わない女性にも支持される。



北高株式会社

大阪の会社として大阪で開催する万博にどんなかたちでも関わりたいという一心でプロジェクト参加をしました。一般の来場者の方々に「水を使わない環境配慮型の染色加工」がどれほど訴求できたかはわかりませんが、当社従業員および多くの取引先関係者と万博の内側に入ったという思いを共有できたことは意義深かったです。同じチームの中では異業種の方もおりました。交流を継続することで新しい事業を生むための化学反応が起きることを期待しています。何より従業員のモチベーションと企業価値を向上させることができたかと確信しています。

高山 茂也(代表取締役社長)

溝口 圭輔(大阪営業部 部長)

岩本 圭亮(大阪営業部 営業1課 係長)

具志堅 茜(商品企画部 主任)



企業紹介

プリント生地を強みとした生地製造卸業のテキスタイルコンバーター。船場の同業各社と連携を進め、「ピリケン」をシンボルとした地域ブランディング「船場テキスタイル」を活動。繊維の中心地で「働き続けるまちづくり」を模索する。

出展企業コメント



マツオインターナショナル株式会社

当初、出展にはかなり無理のある企画かと思っていましたが、スタッフの頑張りとアイデアで出展することが出来ました。普段は違う部署で働いているメンバーが業務とは違う分野で思わぬ才能を発揮したり、自然と互いに協力する協調性も培われました。

又、スタッフ自ら手掛けた出展物を来場された方々に生き生きと説明する姿が感動的でした！不可能と思われたことを現実に変える！無から有を生み出すことを目の当たりに出来たことはこれからのものづくりの現場にきっと活かされることと思います！

谷口 直樹（常務執行役員 人事総務本部本部長 人事総務部長）
 牧井 亮（MICアクセサリ部 部長）
 古川 雅子（松尾産業株式会社）
 岡座 巧（松尾産業株式会社）
 高橋 憂奈（松尾産業株式会社）
 木村 菜乃（松尾産業株式会社）
 川口 隆之（松尾産業株式会社）



企業紹介

アパレルの企画、製造から小売りまでを手掛けており、百貨店などに自社セレクトショップも出店している。個人デザイナーを中心にチームをつくり、糸から選んだ生地や素材の組み合わせによって、こだわりぬいた製品を生み出すのが特徴。



株式会社 丸十

関西万博では、大阪ヘルスケアパビリオンにて「空気から作った着物」を展示させていただきました。

20万人もの方々に足を止めていただき未来の着物の形をご覧いただけたことは、私たちにとって一生の宝物です。会期中には「こんな事が出来るのか!」という反響も頂き伝統技法と最新技術が融合した作品に多くの方が「着物の可能性」を感じてくださったことを肌で実感いたしました。この感動を胸に、これからも着物や繊維の未来を切り拓いてまいります。

ご一緒に共創して下さったプロジェクトの皆様にご心より感謝申し上げます。

北山 典彦（株式会社丸十 代表取締役）
 福田 泉（株式会社丸十 スタッフ）
 柴田 直樹（株式会社丸十 スタッフ）
 柴田 佑史（柴田織物 代表取締役）
 梅村 俊和（株式会社プレジール 社長）



企業紹介

東大阪市を中心に地域密着型で呉服の販売やレンタルを手掛ける創業約120年の老舗呉服小売店。「着物」を現代にマッチさせ新たな価値をうみだし、織物や染めなど日本の技術を発信する事で日本の和文化ファッションを次世代につなぐ。



学校法人ミクニ学園 大阪文化服装学院

学生にとって得難い学びの場であったことはもちろん、本プロジェクトは、学校がハブとなり、大阪・関西の企業が持つ伝統的な技術や開発素材の価値をクリエイティブに昇華し、社会へ発信できた意義深い取組となりました。各社の特長やリソースに真摯に向き合うことで、一般には見えにくい魅力を可視化し、万博というかけがえのない舞台を通じて多くの方々に届けることができました。今後も未来を担う人材の育成に取り組むとともに、教育機関として教育と産業、地域を結ぶ役割を発展させてまいります。

企業紹介

国内外のコンテストで毎年受賞者を多数輩出するほど実力ある服飾専門学校。伝統の製作技術と欧州型のデザイン発想のハイブリッド教育が特徴。服飾専門学校で唯一、大阪ヘルスケアパビリオンに出展した。



kurukuruチーム

中村 涼乃	宮前 美咲	和田 友季乃
相田 悠佑	近藤 佑夏	小林 愛佳
白井 瑞紀	正代 つかさ	空 紀佳
竹内 日陽	辻 菜月	中川 憂紀
中田 絵里	本多 燿	山口 明莉
吉村 勇哉	渡邊 照	河村 小太郎

billybillyチーム

永田 楓月	立石 琴那	巻藤 愛望
西出 沙織	堀池 春香	小倉 那菜
安 彩蘭		

教員

加藤 圭太	杵山 晶	下岸 貴美子
古城 明子	岡村 茜	三宅 憲子
蓬萊 彩奈	久保 海斗	

出展企業コメント



株式会社桃谷順天館

約3年間にわたり、4社が力を結集し、製作から魅せ方に至るまで細部にこだわり抜いて本プロジェクトを完成させました。

開催期間中は常に行列ができ、多くのお客様に未来のファッションがもたらすワクワク感を体験していただけたと感じています。実際の反応や笑顔に、私たち自身も大きな刺激と手応えを得ました。

その反響として新たな開発のご依頼も多数いただき、改めて多くのご縁に感謝しております。今後も未来を見据え、挑戦を重ねながら価値創出に取り組んでまいります。

杉野 哲造(桃谷総合文化研究所 所長)

宇山 彩香(桃谷総合文化研究所 エキスパート)

古田 充子(桃谷総合文化研究所)



企業紹介

創業1885年の老舗化粧品メーカー。新規事業開発を行う「桃谷総合文化研究所」を設置し、スキンケア効果をもたらす繊維「モイストファイバー」の開発などファッション産業やスタートアップ企業との連携を進めている。

山本化学工業

山本化学工業株式会社

展示期間中は弊社がこれまで関わることのなかった分野の方も含め、非常に多くの方々に製品をご覧いただき、感動や驚きなど沢山の嬉しいお言葉を頂きました。携わってくれた従業員にとっても大変貴重な経験となりました。今回素晴らしい機会を頂いたことで、他社の方から見た弊社素材の価値を改めて知ることができました。異業種だからこそ見出せる新たな魅力、それぞれの強みを持ち寄ることで生まれる革新的なアイデアや技術など、万博での成果をレガシーに、今後も大阪から世界へ共創を助け、相互の発展に寄与できるよう努めて参ります。

山本 晃大(専務取締役)

吉岡 宗一郎(執行役員補佐)

飯森 素子(主任)



企業紹介

生野区に本社・工場を構えるゴム素材メーカー。主力製品のウェットスーツ用ゴム素材は世界シェア90%以上、取引国は60カ国を越える。地球環境へ配慮し、石灰石・菜の花由来のウェットスーツ素材の開発など環境配慮にも取り組む。



株式会社ヨシダ

2年間このプロジェクトに参加し、多様な企業の皆さまと共創できたことは、帽子づくりに向き合う私たちにとって大きな学びとなりました。異業種との協働により、素材や発想の可能性が広がり、環境に配慮した従来の枠を超える帽子表現へと挑戦することができました。万博会場では、企画者・制作者・来場者が一体となり、未来の装いや暮らしの在り方、社会が目指す姿について語り合えたことが強く印象に残っています。これからも帽子を通じて、新たな価値や想いを次の世代へ丁寧につないでいきます。

吉田 照陳(株式会社ヨシダ 代表取締役社長)

浦野 世都美(株式会社ヨシダ 専務取締役)

吉田 香里(株式会社ヨシダ 常務取締役)

田中 修二(株式会社ヨシダ)

チャン ヘイトンアイリーン(株式会社ヨシダ)



企業紹介

国内で唯一、染色から全行程を社内一貫生産しており、豊富なバリエーションと自由な商品づくりを強みとする帽子メーカー。天然素材の土に還る帽子等、循環型社会への貢献に取り組む。“ワクワクするぶっ飛んだ帽子”から世界を笑顔にすることが目標。

吉村解体

株式会社吉村解体

異業種で参加させていただいたため、右も左もわからず初めてのことばかりでとても勉強になりました。業界や会社の新しい可能性や、リサイクルの現状に少しでも興味を持ってほしくて参加しました。作品として完成するまでの過程を体感できたことも、作品への情熱を感じることができたこと、実際に万博で多くの方からいい反応をいただけメディアにも注目してもらえたのは、チャレンジした結果だと思います。手を上げなければ見えなかった景色です。これからどんな可能性があるかまだ未知数ですが、万博へのプロジェクトに挑戦した経験は何物にも代えがたい宝物です。今後も自動車の部品や生地製品、アップサイクルなど展示などの作品で必要とあればぜひお声がけください。

田中 満夕子



企業紹介

使用済み自動車の引き取り、解体、適正処理、リユース、リビルト部品販売を手掛ける。廃車を価値ある資源として有効活用することで、廃棄物・CO₂削減に貢献。活用先が無く資源化が進まないエアバッグやシートベルトのアップサイクルを構想する。

出展企業コメント



株式会社リゲッタ

大阪・関西万博という大きな舞台で、「宙に浮く靴」という未来のかたちを表現できたことは、私たちにとても大きな挑戦であり、非常に貴重な経験となりました。靴が実際に空中に浮かぶ様子をご覧いただき、多くの方から驚きや笑顔、励ましのお声を頂戴したことで、新たな可能性を強く実感しています。介護やリハビリ分野への応用など、人の歩みを支える技術としての発展も視野に入れ、万博のレガシーを糧に、これからもワクワクするものづくりに挑み続けてまいります。

- 高本 泰朗(株式会社リゲッタ 代表取締役)
- 福瀧 賢一(株式会社リゲッタ デザイン開発部 部長)
- 麻植 夕貴子(株式会社リゲッタ デザイン開発部)
- 隅田 沙希(株式会社リゲッタ デザイン開発部)
- 松田 良平(株式会社リゲッタ 広報部)



企業紹介

靴づくりのまち・大阪市生野区で「Re:getA(リゲッタ)」は下駄に着想を得て、現代人に合わせて再設計した靴ブランド。生野区の職人約300人が携わるバトンリレー形式で生産しており、地場産業の活性化にも貢献。



株式会社ロイスエンタテインメント

多くの方がビリケンを見て「かわいい!かわいい!」と言って頂けたことで非常に感激しました。今回のビリビリチームのプロジェクトを通して、ファッションに3D技術を加えることでイノベーションを起こしていくことができるのではないか?という仮説を検証することができたと思います。今後はさらにファッション業界への3D技術の可能性を追求していきたいと思っています。ありがとうございました。

- 廣瀬 勇一(代表取締役)
- 奥井 花音(デザイン1部)



企業紹介

AR技術が得意な3Dデザイン会社。等身大フィギュアなどの立体造形物製作のほか、AR、メタバースなどのデジタルコンテンツ製作も手掛けている。大阪の繊維・ファッション産業の「魅せ方」を新たな角度から提案したい。

展示空間



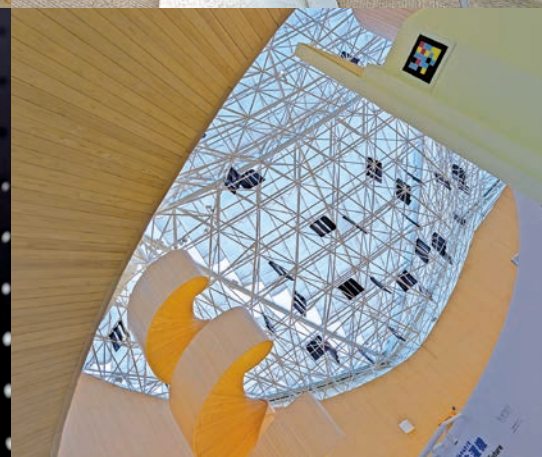
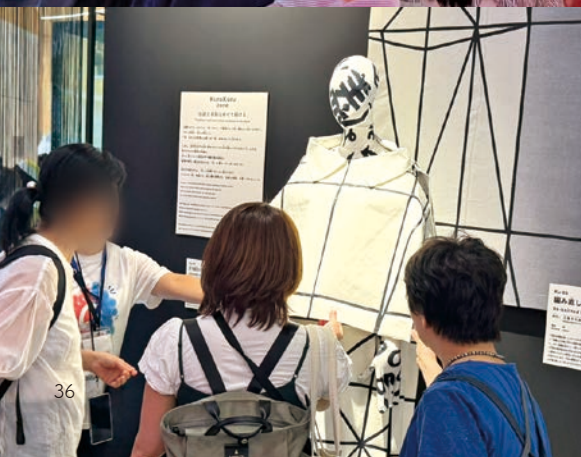


展示期間・来場者の様子

設営・撤去



'You can't go naked': transforming fashion to the future!



万博は何を残したか

人脈・交流の拡大

普段接することのない客層・消費者からの反応により自信になった。

素材、技術の幅が広がったことにより、新たな市場ニーズや製品開発のきっかけとなり開催後もお付き合いが継続している。現実的な商品製作を進行中。

他業種として繊維ファッショ産業の協業先と出会えた。今も取引がつづく。

同じ町の企業なのにしらなかった。知り合いが増えた。

万博を勘違いしていた。商品を売るのではなく、ふだん出会わない人とたくさん触れる中で考え直す機会だった。

展示物共創をみんなで諦めずに追及できたことが万博の本当の価値。

新たなアイデアの挑戦・スキルアップの実感

新しい視野がひろがった。自分自身も社員もスキルアップした。

共創経験を達成できたことで、胸を張って、以後、営業活動を行える。

売れるものではなく、予算を気にしないものづくりを楽しめた。

研究だけではなく、企画、マネジメント、AI動画生成まで自身の業務の幅が広がった。

メディア対応になった。

繊維業界・自社への気づき

なんでもやれんことないなあという実感

ただの技術紹介ではなく、見た目の惹きつけ→技術説明というストーリーで技術を語ることができるのがファッション産業の強み

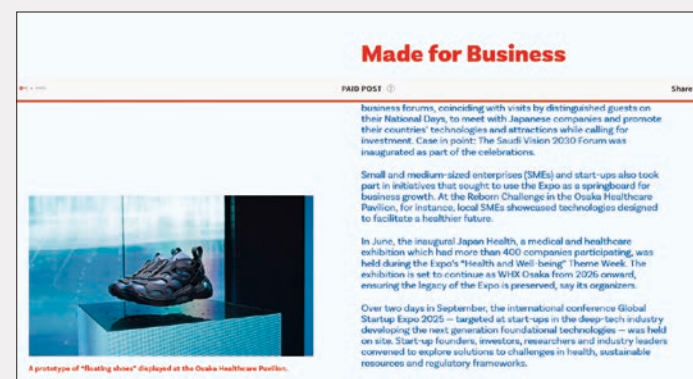
ファッション業界って袋小路だと。だけど、結構、人の心をうごかせるんだなあ

感情から入るマーケティングの気づきを得た

実ビジネス面での成果も

- 万博がきっかけで交流があり、取引がスタート。奈良生産の靴下、帽子、ストールなどの立体編みの企画がスタートし、製品が販売された。
- 参加企業との会話の中からファスナー新商品の開発を実施。
- メディア露出により協業相手が増え、展示した素材の引き合いが急増中。新たな製品も企画中。
- 万博に出展したことで、企業の信頼が向上し、百貨店でのブース出展につながった。
- ファッション専門学校や参加企業で関係が構築。新卒応募が増加した。

多くのメディアが注目をし、大阪・関西の繊維業界にスポットが当たる



2023年度～2025年度で新聞・雑誌、テレビなどの報道で100件以上掲載された。展示品の一部は、国内外において、中小企業と万博の関わりを象徴する展示となった。

（出典）
内閣官房 国際博覧会推進本部
『New York Times』 タイアップ記事広告

編集後記

記念誌を作成しながら、本プロジェクトは誰が頑張ったというのではなく、一人一人の頑張りが実を結んだものだと思えて実感しました。2025年大阪・関西万博と本プロジェクトは終了しましたが、皆さまの物語は続いています。この記念誌が、今後もたまに見返されて、本プロジェクトに関わった全員にとって、行く道のお守りや背中を押すものになればありがたい限りです。
（事務局）



事務局 井上 毅 （大阪商工会議所 流通・サービス産業部長）
名越 由美子 （大阪商工会議所 流通・サービス産業部 次長）
久保 瑞季 （大阪商工会議所 流通・サービス産業部）
岡林 歩美 （協同組合関西ファッション連合 事業部 主任 広報担当）

（大阪商工会議所）高橋 克明 米田 直樹 森本 葉月 青戸 涼子 今井 一美 志水 展子
（関西ファッション連合）大西 洋市 西田 裕紀 清水 さゆり 田邊 秋穂
（MAJIWARI）内藤 祥太郎

サステナブルに基づく繊維ファッション産業の未来共創プロジェクト
大阪・関西万博
大阪ヘルスケアパビリオン出展 記念誌

2026年3月31日 発行

大阪商工会議所 〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8

表紙デザイン Thirdman® products 蓬莱 知春
DTP・印刷 株式会社遊文舎